学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 理科

科目名 ：	地学基礎	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数 8 回
使用教科書 ：：改訂 地学基礎 （東京書籍）			
学習書 ・副読本 ：：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レ ポ ー ト [R]	６ 枚	２ 枚	２ 枚	２ 枚
スクーリング [S]	１８ 回	７ 回	６ 回	５ 回
テ ス ト [T]	２ 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

第１範囲は宇宙の構造を基本に、宇宙の起源や進化について学習します。また、太陽をはじめとした恒星の進化の仕方について、そして、地球の変遷と生物の進化などについて学習します。
第２範囲は地球の構造について学習します。火山、地震、地殻変動などのメカニズムについて学習し、あわせて防災意識を高めていきます。
第３範囲は大気について気象要素を基本に、毎日の気象現象から四季の変化を学習します。また、海洋も含めて地球のシステムについても学習し、自然環境や地球環境問題について考えます。
化学式や計算はほとんど出てきませんが、とても桁の大きな数値を扱います。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球の取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって、地学的に探究する能力と態度を育み、地学の基本的な概念や原理、法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：観察・実験の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中でとらえるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境に関連する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・記述の点検（レポート）	・記述の点検（レポート）	・観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート）	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

・年度末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	宇宙の進化・地球の変遷	宇宙の構造と進化(1) 宇宙の構造と進化(2) 太陽と惑星 生命の変遷(1) 生命の変遷(2) 地層や岩石の観察(1) 地層や岩石の観察(2)	○	○		○	宇宙の誕生と地球の形成について、宇宙と惑星としての地球の特徴を理解する。 a.誤答の数、誤字・脱字の有無。記述の丁寧さ。 b.宇宙の誕生と太陽系の一生・惑星としての地球との関連づけた思考力。 d.復習プリントの自主的な学習と、定期テストの結果。 古生物の変遷と地球環境の変化、および地層が形成される仕組みと地質構造について理解する。　a.誤答の数、誤字・脱字の有無。記述の丁寧さ。 b.岩石標本や化石標本の観察態度と、地球史の流れを総合的に判断できる力。 d.復習プリントの自主的な学習と、定期テストの結果。	・定期考査 ・レポート
2範囲	地球について	大地とその動き(1) 大地とその動き(2) 地震(1) 地震(2) 火山(1) 火山(2)	○	○	○	○	プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解する。地震と火山活動の仕組みについて理解する。 a.誤答の数、誤字・脱字の有無。記述の丁寧さ。 b.地学現象とプレートの運動との関連づけた学習。学習内容を防災意識に反映できる力。 c.DVD教材の視聴態度と岩石標本の観察。　d.復習課題の自主的な取り組み。	・レポート ・復習課題
3範囲	地球のこれから	大気 海洋 地球環境の考え方 自然環境の変動 日本の自然環境 これからの地球環境	○	○		○	大気の構造と地球全体の熱収支及び大気の大循環と海水の運動、それらによる地球規模の熱の輸送について理解する。 地球環境の変化を科学的にとらえ、理解するとともに、日本の自然環境を理解し、その恩恵や災害など自然環境と人間生活のかかわりについて考察する。　a.誤答の数、誤字・脱字の有無。記述の丁寧さ。 b.地球規模と大気の循環と、個々の気象現象との関係性を総合的に考える力。地球環境問題を自分の問題として思考する力 d.復習プリントの自主的な学習と、定期テストの結果。	・定期考査 ・レポート

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：観察・実験の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。